

2022年3月吉日

一般社団法人日本小児看護学会会員 各位

小児医療・看護 関係者 各位

「成人患者との混合病棟における子どもの療養環境向上のための具体的対策」

提言のご送付

一般社団法人日本小児看護学会

理事長 塩飽 仁

小児看護政策委員会担当理事 荒木暁子

拝啓

春らしい陽ざしを感じるこの頃、ご健勝にお過ごしのことと存じます。

急激な少子高齢化、医療構造の変化や在院日数の短縮に伴い、小児病棟の閉鎖・縮小、成人患者との混合病棟化は増加の一途をたどっています。コロナ禍と相まって、小児の入院する病棟においても面会制限、プレイルーム、玩具や絵本などの使用制限など、子どもたちの療養環境が様々な制約を受けています。

このように小児療養環境の質担保を懸念し、「**成人患者との混合病棟における子どもの療養環境向上のための具体的対策（提言）**」をまとめました。

この提言が、子どもの医療・看護にかかわる多くの方々のお目に触れ子どもの療養環境を守る一助となりますよう、ご周知いただけますようお願いいたします。

敬具